



今年の梅雨はとても長かったですね。何度かお日様がのぞいた日もありましたが、雨の日が多かったので、外遊びが出来ない日が続きました。8月は、これまでの分を挽回して、沢山外で遊べたらと思います。ただし、あまり暑すぎても、今度は熱中症に気を付けなくてはいけないので、子どもたちの体調を一番に考えながら暑い夏を楽しみたいと思います。

暑さ指数に気をつけましょう

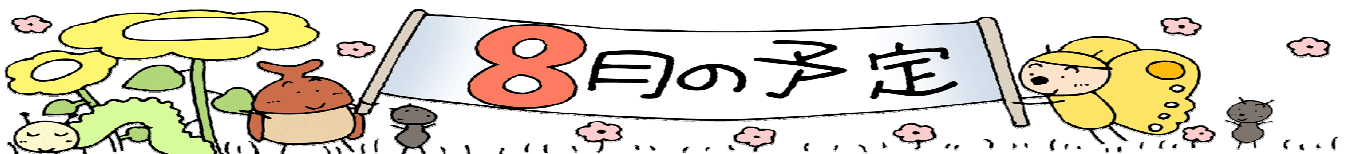
夏の暑い時期、外で活動する時には気温だけではなく「暑さ指数」にも気をつけてみましょう。インターネットで「暑さ指数」と検索すると、環境省熱中症予防情報サイトが見つかります。暑さ指数のページを開いて東京を選択すると、2日後までの予測が確認出来ます。この時に8場面での予測が出ているので、「子供・車いす」を選びましょう。子どもの暑さ指数は地表から50cmを想定して予測されています。大人と比べて平均0.1～0.3℃高くなります。地表の温度の高い場合は2℃近くあがることもあるようです。大人と一緒に歩くときや、バギーに乗っている場合には注意が必要です。

《暑さ指数の算出方法・屋外》

$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$
これは、普通の気温計では測定できません。



←このような黒球がついた専用の温度計があれば、計測できます。保育園では、園庭で遊ぶ前に暑さ指数を確認しています。



17日(月)	0歳児身体測定	18日(火)	1歳児身体測定
26日(水)	0歳児健診	19日(水)	2歳児身体測定
		20日(木)	3・4歳児身体測定